

ホームページ開設にあたって

20世紀後半に反戦、反核を訴えた芸術家、北一明（本名下平昭一）の没後10年をめぐりホームページ開設を準備してまいりました。しかしコロナ禍の中、活動は制限され国内外への発信が大変遅れてしまいました。

この度、不十分ですが何とか開設にこぎつけることができました。北一明の業績からみればまだ一部の頭出し、という段階ですが、可能な限り内容を拡充し、皆様に提供していきたいと考えています。

詳細は各ページをご覧くださいなのですが、北一明は、生前精力的な活動で作品作りに取り組み、各地で展示会を開催、当時の著名人から称賛されました。残念ながらその多くは既に過去の人となり、今や北一明を知る人はほとんどいない状況となっています。

彼の作品の一部が収蔵されているのは大英博物館、故宮博物院をはじめ国内外の著名な博物館や母校法政大学、出身地の飯田市などです。それらを見るのは難しいと思われるので、ホームページからアクセスして頂き、北の人物像と作品、業績を少しでもご理解頂ければ幸いです。

2021年には国連で核兵器禁止条約が成立し、去年は同条約締約国会議が開催されるなど大きな前進が見られました。しかしロシアによるウクライナ侵略、チェルノブイリ原発へのロシアの攻撃があり、核兵器の使用がほのめかされる一方、被爆国、日本国内でさえ核の共有が議論されるきわめて異常な状況が起こっています。没後10年、戦後77年、北一明流に言えば「ヒロシマ・ナガサキ77年」を越えてなお世界は戦争と核の脅威にさらされ続けています。

私たちは、今こそ北が生前鳴らし続けた警鐘を思い起こし、北作品を通して核の脅威を後世に伝えていくことが課せられた宿題であると考えています。このホームページがその一助となるよう願っています

2023年3月
北 一明記念館設置準備会